



関川村移住・定住ガイドブック



令和5年9月改訂

関川村はこんな村

関川村は新潟県の北東部に位置する、人口約 4,873 人の小さな村です。いわゆる「平成の市町村合併」に参加せず、「小さくてもキラリと光る村」を目指して、村民と行政で力をあわせて村づくりを進めています。（※人口は令和 5 年 8 月末現在）

村は山々に囲まれ、村の中心部には「平成の名水百選」にも選ばれた荒川が流れ、両岸には温泉街や風情ある街並みがあります。

整備された道路網など、都市部へのアクセスが確保されています。温泉やキャンプ場など充実した時間を過ごせる環境もあり、自然に囲まれた静かな環境が広がっています。

関川村をちょっと紹介



(上)清流荒川
村に恵みを与えてくれる荒川。四季折々に変化する表情はいつまでも見飽きません。

(右)東桂苑
明治の建築技術の粋を集めた邸宅。庭園の紅葉も見事です。



(左)大したもん蛇まつり
82.8mの大蛇が練り歩く村の大イベント。大蛇は世界記録に認定されています。

(下)国重要文化財「渡邊邸」
豪商の屋敷で、村のシンボリック存在です。





暮らす

豊かな自然に囲まれた環境で
安全安心に暮らせます

交通

村民の主な交通手段は車ですが、村内のほぼ全域を路線バスとデマンドバスも走っています。通勤通学にはＪＲ米坂線※も利用されています。

※水害の被災で現在不通により
代行バスが運行しています。



買い物

村内には、日用品、生鮮品を扱った小規模な商店はありますが、大規模な商業施設はありません。ホームセンター１店、コンビニ３店があります。隣接する村上市にショッピングセンターがあります。

医療

村内には村立の関川診療所と内科医院の２つの医療機関があります。入院施設はありませんが、近隣の村上市に２つの病院があり、多くの村民が利用しています。また、村では高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう、地域包括支援センターを設置しています。



関川診療所



育てる

少人数保育＆教育でのびのび
切れ目のない子育て支援に取り組んでいます

保育園

村内には２つの保育園があります。（Ｒ6.4月統合予定）幼稚園はありません。いわゆる待機児童はずっと０人。自然に囲まれた保育環境の中、子どもたちはのびのびと育っています。忙しい保護者のために、送園バスの運行、延長保育や土曜保育を実施しています。近隣の村上市坂町病院内での病児保育センターを利用することもできます。



子育て支援センター

育児についての相談指導などを実施し、子育て家庭に対する支援を行っています。子育てに関する講座やイベントを開催するなど、乳幼児や保護者の交流の場にもなっています。

学校

小学校と中学校が１つずつあります。高校はなく、近隣の市町村へバスや電車で通学する場合がほとんどです。小中学校では電子黒板などの情報機器を使用した先進的なＩＣＴ教育に取り組んでいます。





働く

関川村には様々な仕事があります
自分にあった仕事で、あなたらしく暮らしてみませんか



農業

村の農業は、荒川の豊富な水量を活かした稲作（コメ）が中心です。特に岩船産コシヒカリは首都圏でも人気のブランド米です。また、近年は大豆やアスパラガス、枝豆などの栽培も盛んです。各種補助制度を利用して新規就農、経営の大規模化に取り組んでいる方もいます。

林業

広大な森林面積を有する関川村にとって、林業は重要な産業です。関川村森林組合を中心に、山林を育て、地域環境を守るための間伐作業等を行っています。また、豊富な資源を活かし、しいたけの栽培などにも取り組んでいます。

商工業

村内には建設業、飲食業、観光業などを営む企業があります。また、これまで培ってきた技術や人脈を活かし、起業している方もいます。キャリアを活かして関川村に新しい風を起こしてみませんか。



住む

地方ならではのリーズナブルな住まい
広い一軒家も夢ではありません

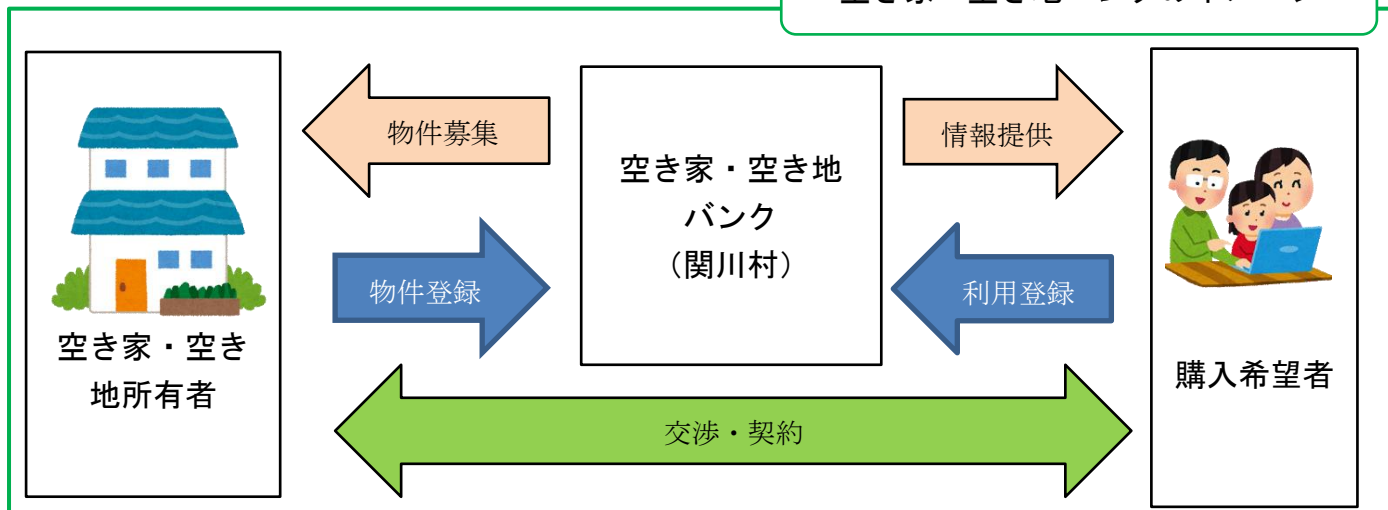
村営住宅

村内には単身用から世帯用まで様々な村営住宅があります。家賃は月3万円～。保育園の近くに若年層向けの住宅を整備し、子育て世代の移住・定住を支援しています。

空き家・空き地バンク制度

村内にある空き家・空き地を有効活用するため、集落支援員や宅建業者と連携して、移住などを希望する方に空き家・空き地の紹介を行っています。空き家の状態は様々ですが、気に入った物件が見つかるかも。

空き家・空き地バンクのイメージ



関川村に移住や定住をする方を応援します

移住・定住促進支援制度

結婚・子育て

結婚祝金事業

村に定住する新婚夫婦に、お祝い金 10 万円を交付しています。

結婚新生活支援補助金事業

新婚世帯への住宅の購入費・リフォーム費や家賃、引っ越し費用の一部について、最大 20 代へ 60 万円、30 代へ 30 万円を補助しています。

出産支援制度

14 回分の妊婦一般健診を公費で受けられるよう補助券を交付しています。

妊産婦医療費助成制度

母子手帳交付日から出産(流産死産)した月の翌月末までの妊産婦を対象に助成を行っています。

自己負担：通院 1 回 530 円(5 回目以降無料)、入院 1 日 1,200 円

不妊・不育症治療費補助制度

不妊・不育症治療にかかる費用の一部を助成しています。

- ・保険診療/年 15 万円（上限）
- ・保険適用外診療/年 40 万円（上限）
- ・通院費助成/年 1 万円（上限）
- ・宿泊費助成/年 5 千円（上限）

産後ケア事業

子育てに不安をお持ちのお母さんが、赤ちゃんと一緒に医療機関に宿泊し、必要な育児の指導やお母さんの心のケアを受けることができます。

- ・ 1 泊 2 日から最大 6 泊 7 日まで利用できます。
- ・ 1 日当たりの利用料金から、村の補助額 15,000 円を差し引いた金額が自己負担になります。

伴走型相談支援

妊娠期から出産・子育てまで一貫して保健師が身近な相談に応じます。

- ・ 妊娠届出時（面談）⇒妊娠 8 カ月頃（アンケート、電話で聞き取り）⇒出生届け出後（面談）

出産応援金（妊娠届出時）

妊婦 1 人あたり 5 万円給付します。
（妊娠届出時に保健師と面談後、申請書お渡し）

子育て応援金（出生届出後）

子ども 1 人あたり 5 万円給付します。
（生後 2 か月頃に行う「2 か月児訪問」において保健師と面談の際、申請書お渡し）

ファミリーサポートセンター制度

子育ての援助を受けたい人、子育ての援助を行いたい人が会員となる会員同士の助け合い制度。村が仲介となっています。

こんにちは赤ちゃん訪問制度

2 か月の赤ちゃん全員を対象に、保健師が自宅に訪問し、発育の確認や、生活上の指導、育児相談、村の健診や予防接種などについて説明を行っています。

子どもの医療費助成制度

村独自に対象を拡大し、入院・通院ともに高校卒業時まで助成を行っています。
自己負担：通院 1 回 530 円（5 回目以降無料）、入院 1 日 1,200 円

保育料の負担軽減制度

国の基準よりも低額な保育料で、多子世帯向けの減額制度も手厚くなっています。
3～5 歳児、0～2 歳児の住民税非課税世帯の保育料は無料です。

子どもの医療費助成制度

村独自に対象を拡大し、入院・通院ともに高校卒業時まで助成を行っています。
自己負担：通院 1 回 530 円（5 回目以降無料）、入院 1 日 1,200 円

学校給食費助成制度

中学生以下の子が 3 名以上いる場合、給食費を補助しています。

通学用定期券購入補助金

通学で使用する電車やバスの定期券費用の 30%を補助しています。

関川村奨学金貸与制度

大学、短大、専門学校、高専に進学する学生で申請資格を満たした方に、無利子の奨学金貸与を行っています。（月額：3、4、5 万円から選択）



住む

子育てファミリー等移住支援金

県外から村へ転入した 55 歳以下の方が 2 人以上いる世帯につき、25 万円を交付します。18 歳未満の方がいる場合は、25 万円を加算し最大 50 万円になります。

移住支援金

一定の条件を満たして東京圏から移住した方に、単身 60 万円、世帯 100 万円の移住支援金を交付します。世帯に 18 歳未満の方がいる場合は 1 人につき 100 万円を加算します。

住宅リフォーム補助金

個人住宅のリフォーム工事費用の 20%（最大 20 万円）を補助します。空き家・空き地バンクを通じて購入・賃貸した物件の場合は、最大 200 万円を補助します。

空き家・空き地バンク事業

村内にある空き家、空き地を有効活用するため、ホームページに公表し、移住などを希望する方に空き家の紹介を行っています。

空き家・空き地バンクの登録（予定）物件内の家財道具について、撤去費用を 2/3 補助（最大 20 万円）します。契約の成立した空き家を改修工事する場合、経費の 1/2 補助（最大 200 万円）します。

村営住宅

単身用から世帯用まで様々な村営住宅を運営しています。家賃は月 3 万円～。

体験滞在施設「光兔寮」

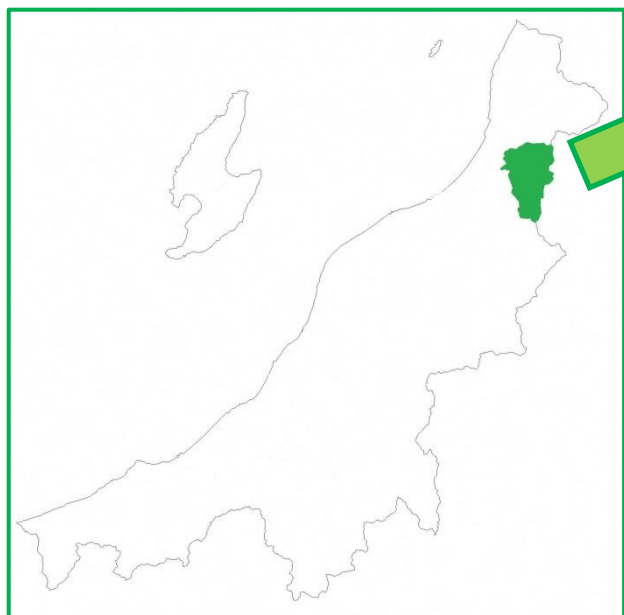
田舎暮らし体験に利用できる「光兔寮」を 1 日 3,500 円から利用可能です。テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの必要最低限の家電がそろっています。

奨学金返済支援制度

村の奨学金を受けた方が U ターン就職した場合、返済の一部を免除しています。



関川村はここ！



車で一気にGO！



電車でのんびりGO！



※JR 米坂線が豪雨被災により坂町駅～今泉駅は運休しており、バスによる代行輸送を行っています

お問い合わせ



関川村地域政策課
交流・定住班

〒959-3292 新潟県岩船郡関川村大字下関 912

TEL: 0254-64-1478 Fax: 0254-64-0079

Mail: koryu-teiju@vill.sekikawa.lg.jp